

取り組み事例①: 食・農林水産業の成長を牽引する中核的専門人材の育成 【食・農林水産分野】

課題・ニーズ

【ねらい】

食・農林水産
産業の成長
産業化

食・農林水産分野の成長を牽引する中核的専門人材の確保・育成が必要。

現状

産業を牽引する若手・中堅人材の不足(他産業に比べ、不安定かつ低い所得)。

【既存の人材確保・育成システムの欠陥】

縦割構造が効果的な政策立案を阻害している...

学生の出口が確保できない...

行政

大学

産業界

専門学校

短大

必要な人材が確保できない...

大学校

育成すべき人材像が産学間で共有されていない...

産学官の間で食農分野に必要な人材像や成長戦略が共有されていないため、各主体は個別最適で行動。連携不足によって機会損失が拡大・深刻化。

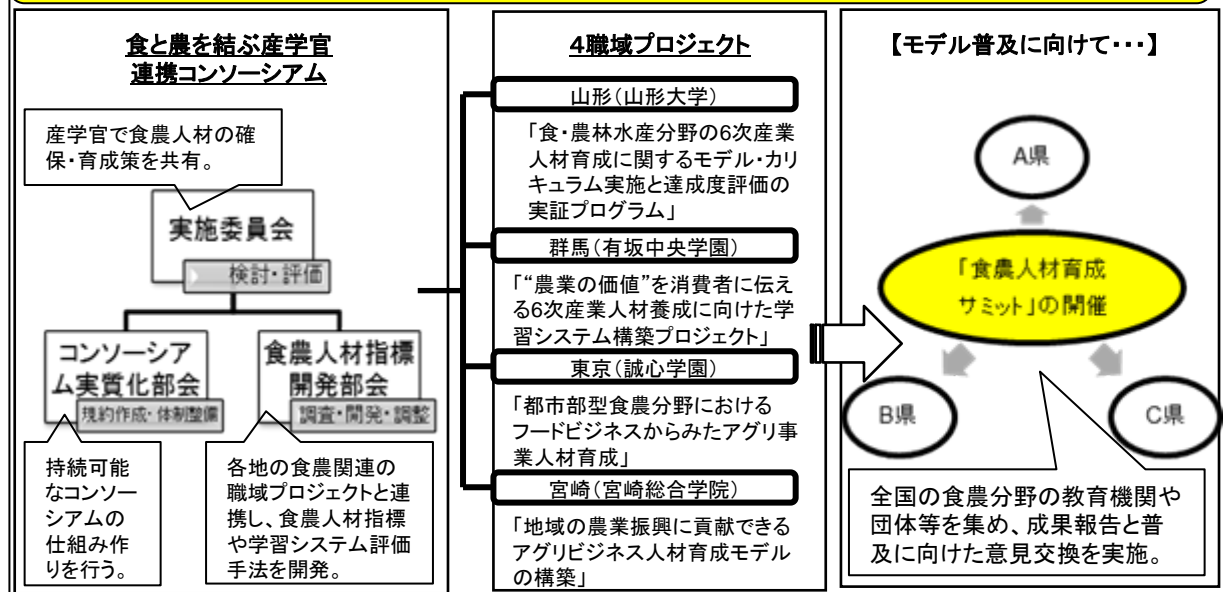
事業概要

- ① 人材確保・育成システムのプラットフォームとなる「食と農を結ぶ産学官連携コンソーシアム」を実質化。
- ② 食・農林水産分野の成長に不可欠な人材像の設定および人材養成課題を明確化。(アグリビジネス・フードビジネス人材)
- ③ 職域プロジェクトと連携しながら、「学習ユニット積み上げ方式」の構築に必要な評価手法を開発。

食と農を結ぶ産学官連携コンソーシアム

- **教育機関**
高崎経済大学、高崎健康福祉大学、山形大学、桐生大学短期大学部、有坂中央学園グループ、誠心学園、宮崎総合学院、群馬県立農林大学校、群馬県立勢多農林高等学校 等
- **経済・農業団体**
群馬県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会群馬県本部、群馬県中小企業団体中央会 等
- **企業等**
カネコ種苗株式会社、株式会社野菜くらぶ、くらぶち草の会、株式会社アイエーフーズグループ 他
- **関係団体**
一般財団法人地域公共人材開発機構、一般社団法人高崎食品リサイクルループ協議会、認定NPO法人ふるさと回帰支援センター 他
- **行政**
群馬県

体制イメージ図



取り組み事例②:IT分野の新たな学習システムのモデル構築と質保証の枠組みづくりの推進プロジェクト【IT分野】

課題・ニーズ

日本の経済・産業の持続的な発展に向けて、社会インフラとしてITは必要不可欠のものとなっている。ITによる新たな価値創造やイノベーションが、産業競争力の強化や社会的課題の解決における鍵となりつつあり、その担い手となるIT人材の育成・確保は、量の確保に加え、質の高度化、グローバル化への対応が重要課題であり、新たな学習システム基盤の整備が求められている。

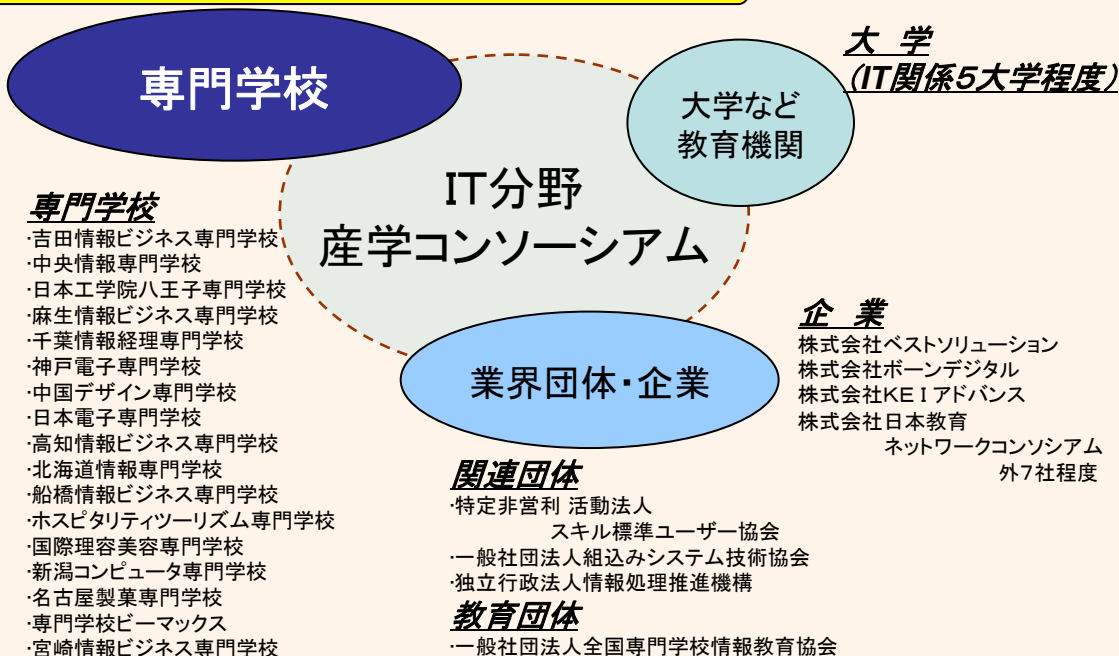
事業概要

IT技術者育成においては、高度化・複雑化する技術に対応した職業訓練の質を追求し、産業界が求める人材のスキルと育成するスキルの整合性を高めることが重要。

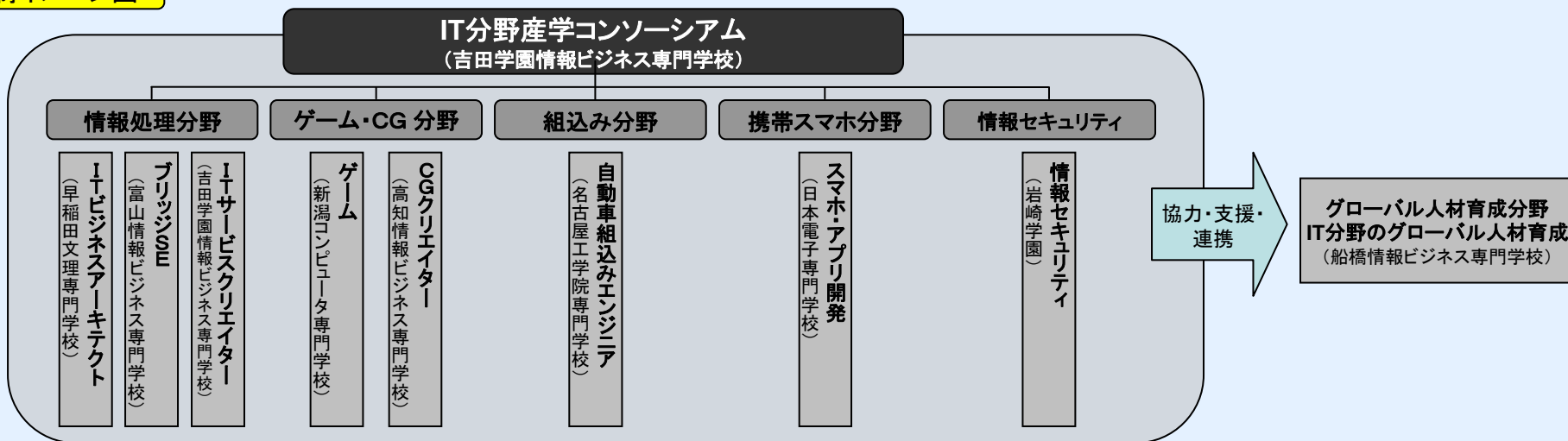
本事業では、企業・業界団体・大学と連携して、産業界の人材ニーズと教育カリキュラムとの整合性を可視化し、IT分野の新たな学習システムのモデル構築と質保証の枠組みづくりを推進するため、以下の取組を行う。

- 職域合同コンソーシアムの設置
- 国内及び東アジア諸国の企業調査
- 職業教育版ITスキル標準の開発
- 既存カリキュラムにおけるITスキル標準のカバー範囲の確認
- 学生の達成度評価の評価指標開発及び仕組みの検討
- 単位互換制度や履修証明制度等の、「学習ユニット積み上げ方式」等の学修成果が生かせる仕組みの検討・協議
- 成果の普及と活用の推進

IT分野の中核的専門人材養成の推進事業コンソーシアム



体制イメージ図



取り組み事例③:美容分野の専門人材の育成を支援する産学官連携コンソーシアムの組織 【クリエイティブ(美容)分野】

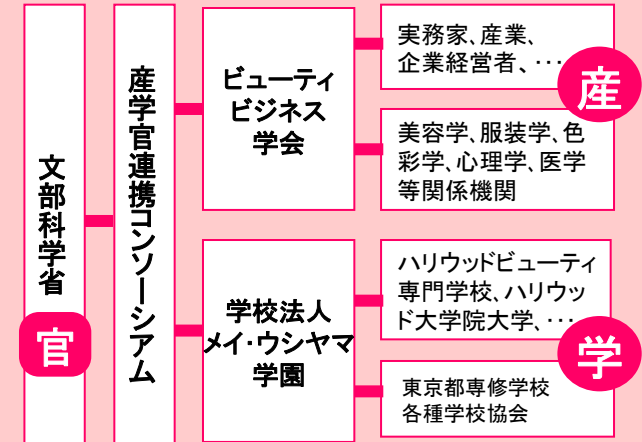
課題・ニーズ

- 美容師を目指す者は多いが、有資格無業者も多く、特に、中核を構成すべき**専門人材が不足**
- 美容はわが国が**国際的優位性**を持つ数少ない業界。**グローバル化に対応**できるスキルアップが急務
- 美容師免許取得後のキャリアアップはサロン依存。中核専門人材の充実に、**キャリアパス・スキルアップのスタンダード**が必要

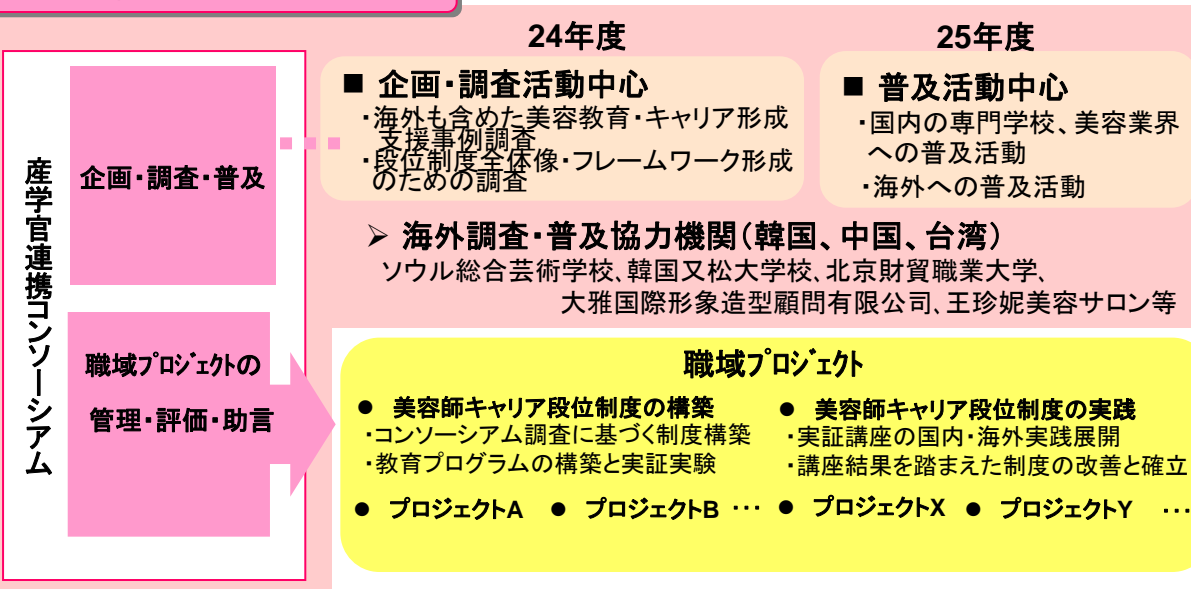
事業概要

- 美容専門人材育成を支援する**産学官連携コンソーシアムの組織**
- **国際的な質保証**を伴う教育のフレームワーク(**段位制度**)構築
- コンソーシアムや職域プロジェクトの方向付け・活動に必要な**調査**
- **職域プロジェクトの企画**、及び、各プロジェクトに対する**管理・評価・助言**
- 事業**成果**の産業界、専門学校等への**普及**

クリエイティブ分野における専門人材養成産学コンソーシアム



体制イメージ図



美容師のキャリアレベル別認定保証

| | | | | | |
|----------|--|-----------|---------------|-----|-----|
| 資格認定者 | 全日本美容業生活衛生同業組合連合会(全美連) | | | | |
| 資格分野 | SBS認定資格・メイク・ネイル・エステの3分野 | | | | |
| 美容師免許者 | 上級↑指導者 | レベル | メイク | ネイル | エステ |
| | 対象の | 業界の指導者レベル | スーパーバイザー・指導講師 | | |
| レベル別資格 | 中級↑技術者 | サロン指導者レベル | 1級 | 1級 | 1級 |
| | 初級 | サロン技術者レベル | 2級 | 2級 | 2級 |
| | | 美容学校卒業レベル | 3級 | 3級 | 3級 |
| 美容学校との連携 | 全美連の認定校の美容学校生が在学中に、3級レベルの研修プログラムを実施し、卒業後の免許取得時に資格認定している。 | | | | |

取り組み事例④：社会基盤整備分野の中核的人材養成プログラム開発プロジェクト

【社会基盤整備分野】

課題・ニーズ

- ①東日本大震災にてインフラ(社会基盤)の重要性を再確認。復興や耐震、老朽化した**社会基盤をリニューアルを行うための技術者**が不足。
- ②政府が掲げている新成長戦略、パッケージ型インフラ海外展開を進めるうえで、**海外で従事する中核的技術者**が不足。
- ③国土交通省が中心に進めている建設IT技術として調査、設計、施工、維持管理を一括管理する**新たなBIM、CIMシステムの本格導入に向けた技術者**が不足。
(BIM、CIMシステム…建設関係の調査・設計・施工・維持管理を一括して管理するITシステム)

→ **企業ニーズに合った人材育成のための教育が必要。**

事業概要

- ・企業ニーズ調査
社会基盤整備分野で必要とされる人材像および必要な能力、資質を調査。アンケート及びヒアリングを実施し人材養成における方向性を把握。
 - ・教育設計図の作成
 - ・モデルカリキュラム基準の開発
 - ・学習ユニット積み上げ方式の構築
 - ・達成度評価基準の開発
 - ・単位互換、履修証明の検討
- **産学官が連携した新たな学習システム構築を目的。**

社会基盤整備分野産学官連携コンソーシアム

教育団体

日本工学院八王子専門学校／日本工学院専門学校／日本工学院北海道専門学校／中央工学校／専門学校テクニカルカレッジ／東海工業専門学校／修成建設専門学校
首都大学東京／東京工科大学 外2大学
職業能力開発総合大学校
東日本高等学校土木教育研究会／東日本建築教育研究会

企業

東日本旅客鉄道株式会社／株式会社大林組／オリエンタルコンサルタンツ株式会社／久米設計株式会社／東京都下水道サービス株式会社／株式会社イエイリ・ラボ／日揮株式会社 外1社

関係団体

公益社団法人 土木学会

体制イメージ図

コンソーシアム

- ・人材養成における方向性の位置づけ
- ・職域プロジェクトの連携、調整
- ・教育設計図の作成
- ・土木、建築分野の基礎科目のモデル・カリキュラ基準、達成度評価の開発

職域プロジェクト

- ・モデル・カリキュラム基準の開発
- ・社会人向け学習ユニット積み上げ方式の構築
- ・達成度評価基準の開発
- ・実証講座の実施
- ・他の教育機関との単位互換、履修証明の検討

